

その他の報告事項について

設計積算誤りについて

1 当該入札の概要

(1) 発注機関

県南建設事務所

(2) 入札方式

指名競争入札

(3) 業務名

地質調査業務委託（道整・交付）

業務概要：白河市葉ノ木平地内国道294号の地質調査及び軟弱地盤の調査解析

(4) 入札年月日

平成24年6月19日

(5) 入札参加者数

9者

(6) 予定価格

8,529,150円

2 事案の概要

応札者9者のうち、1者無効、3者は最低制限価格を下回り失格（入札額の低い方からB者、C者、D者）、残り5者の内最低額の入札者（A者）が落札者となり、6月21日契約締結。

その後別の業務委託で積算誤りが見つかり、同様の事例がないか確認した結果、当該案件は60,900円の過大設計であったことが判明。正しい積算に基づく予定価格等により入札結果を見直すと、C者及びD者は失格ではなくなり、本来の落札者はC者であることが分かった。

当該案件は、入札者が正しく積算できない状態での入札であり、公平性を著しく欠いているうえ、正しい積算からみれば、落札候補者は別の者となる。また、A者から業務着手届は提出されているものの、6月25日に第1回打合せを実施しただけで、調査業務そのものはまだ準備段階であった。以上から、現契約は解除、再設計のうえ再入札を行う。

A者には謝罪し、契約解除の同意を得ており、他の応札者にも謝罪・説明を行った。また、7月6日に記者会見を行った。

3 再発防止のための対応

新たに専門技術管理員による積算内容のチェックを行うとともに、所内での入札事故対策を検討する組織を立ち上げ、チェック体制の強化を図り、職員の意識向上と再発防止を徹底する。